

非行と向き合う親たちの会 リレーションシップみやぎ

定例会へのお誘いとお知らせ

私たちは、生きづらさ（「非行」や荒れなどの問題）を抱えた子どもを持つ親の自助グループです。

秘密は厳守。安心して話せます。どうぞいらしてください。

お待ちしております。

2012年

12月1日（土）2：00～ 定例会 （市民活動サポートセンター）

2013年

1月12日（土）2：00～ 定例会 （市民活動サポートセンター）

2月2日（土）2：00～ （市民活動サポートセンター）

DVD上映会と話し合い / 定例会

「虐待を越える力」 森田ゆり



（家庭内暴力防止に関わる専門家。差別問題、人権問題の啓発セミナーのプログラムを紹介）

人として生きるために大切な人権。人権とは、生きる力の源。
困難を乗り越える要素は、私たちが人権を自覚し大切にしているか、
に大きく左右される。

内なる力にエンパワメントする—— 生きることの根本に触れる内容です。

2月17日（日） 「セカンドチャンス！」（少年院出院者たちのグループ）主催

仙台シンポジウム （場所・時間未定）

あの時、なぜ、俺たちはあんなにも荒れたのか——

深い傷を負っても、自分を取り戻し、社会復帰を目指す当事者青年たち
感動のシンポジウム

問合せ・事務局 080-1838-7464 星野
080-2807-9975 本田

みやぎ「非行」と向き合う親たちの会

(リレーションシップ・みやぎ)

近年における少年事件が、低年齢化・凶悪化とマスコミなどで叫ばれ、教育の理念を持った少年法がこの数年で、どんどん改訂され、厳罰化の一途をたどっています。

また教育基本法も拙速に改訂され、家庭へのしめつけや、子どもへの管理が一層厳しいものになってきています。

しかし厳罰化したからといって「非行」は止まるのでしょうか？減少するのでしょうか？

子どもの「つまづき」には、ひとりひとり違った背景があり原因もさまざまです。

突然、或いはみるみる変化していく子どもの姿に、ほとんどの親はあわて、不安と苦しみでどうしてよいかわからず、時には、学校や地域からも非難され、ひとりで深く悩みをかかえてしまいます。

しかし、さまざまな問題を抱えた子ども自身、大きなストレスを受けていて、内心はとても傷ついています。

「非行」に特効薬はありません。

私たちは、悩みを共有することで、孤立せず、子どもの「つまづき」を受け止め、向き合っていく中で、自ら「気づき」を得、回復していけるものと思っています。

どの子ども、不幸になるために生まれてきたのではありません。

どの子ども「しあわせになりたい」と心では思っています。

「つまづいてもやり直せるよ」と心から子どもに伝えられる日が、きっと来ることを私たちは信じています。

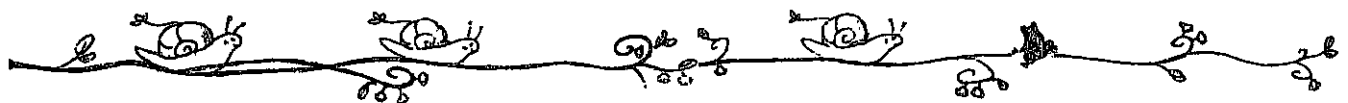
ひとりで悩まず、あなたもぜひ私たちの会へいらしてください。

心からお待ちしています。

「非行」と向き合う親たちの会は

1996年東京でわが子の非行に悩む親と、熱心に非行問題に取り組んでいた教師の思いが集まって立ち上げられた自助グループです。

以来10年、全国各地30ヶ所で結成され、私たちも悩みを共有できる仲間に出会い、ここ宮城にも2007年に設立しました。



この会の進めかた

- ・自己紹介はしなくてもかまいません
 - ・話すか話さないかは自由です
 - ・聞くだけの参加でも大丈夫です
 - ・自分の体験を話します
 - ・お互いのプライバシーを尊重しあい批判はしません
 - ・ここで話されたことは、互いに外に持ち出さない約束をします
- 安心してご参加下さい

定例会のお知らせ

- 毎月 第1土曜日 14:00~17:00
1月、5月は第2土曜日
- 場所 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
仙台市市民活動サポートセンター
Tel 022-212-3010
- 参加費 会員 300円
一般 500円
(諸事情ある方は半額もしくは無料)

随時、相談を受け付けています。